



5. 公共サイン

誰もが安全・安心して移動できる公共サインとするため、それぞれの要素について具体的な事例を紹介します。

良好な公共サイン整備及び維持管理するため下記の事項に配慮し、街並みと調和したデザインを心がける必要があります。

【良好な公共サイン整備及び維持管理するための事項】

(1) 誰もが安全・安心して移動できる公共サイン

- ①ユニバーサルデザインへの配慮や防災サインとの連携に努めましょう。
- ②目的地への円滑な誘導等、連続性のある効果的なサインの配置を心がけましょう。
- ③誰もが安全に安心して移動できるサインとしましょう。

対象項目
5-1 安全・安心への配慮

(2) おもてなし・思いやりの心が伝わる公共サイン

- ①誰もが正しく理解できるよう、シンプルで統一性あるデザインを基調としましょう。
- ②管理が行き届いた、おもてなし・思いやりの心が伝わるサインとしましょう。

対象項目
5-2 統一性への配慮

(3) 那覇の景観と調和した公共サイン

- ①那覇市景観計画との整合を図り、沖縄らしい素材を活用しましょう。
- ②地域の特性を考慮したサインとしましょう。

対象項目
5-3 伝統的な素材の活用

(4) 公共サインの維持管理

- ①定期的な点検やメンテナンスを行い、維持管理します。
- ②点検の際には点検チェックシート等を作成し、現状を把握しておきます。
- ③屋外広告物については、有資格者による点検が義務付けられています。

対象項目
5-1 安全・安心への配慮



5-1 安全・安心への配慮

デザインのPoint

- ◆ サイン配置にあたっては、歩行者の安全に配慮するとともに、自動車等の通行の死角にならないように留意しましょう。
- ◆ ユニバーサルデザインの観点から日本語と英語の2種類による表記を基本としますが、必要に応じ、多言語表記の活用を検討しましょう。
- ◆ サインに表記する文字については、誰もが視認しやすい書体の使用を基本としましょう。
- ◆ 文字の大きさについては、視認性を考慮して高齢者や弱視者にも判読しやすいよう配慮しましょう。
- ◆ 見ただけで容易に理解できるピクトグラム（絵文字）を活用しましょう。
- ◆ 色彩については、図と地のコントラストを強くするなど視認性を高めるとともに、高齢者や色弱者、視覚障がい者に配慮しましょう。
- ◆ 周辺の色や空間構成等を考慮し、サインがあることがわかりやすく、かつ、周辺の景観を阻害しないような色彩としましょう。
- ◆ 車いす利用者の視認性を良くするため、案内サインの足元に空間を設けることも検討しましょう。

言語表記への配慮



日本語と英語の2種類表記の事例
【那覇市内】



5種類の多言語表記の事例
【那覇市内】

【ユニバーサルデザインフォントによる視認性の向上】

シンプルなデザインに配慮



判別しやすく空間を確保



那覇市公共サイン計画(平成26年3月 那覇市都市計画部 都市デザイン室)より



ピクトグラムの事例



「著名地点道路案内標識マニュアル(案)道路標準ピクトグラム」



「著名地点道路案内標識マニュアル(案)道路標準ピクトグラム」を活用した事例【那覇市内】

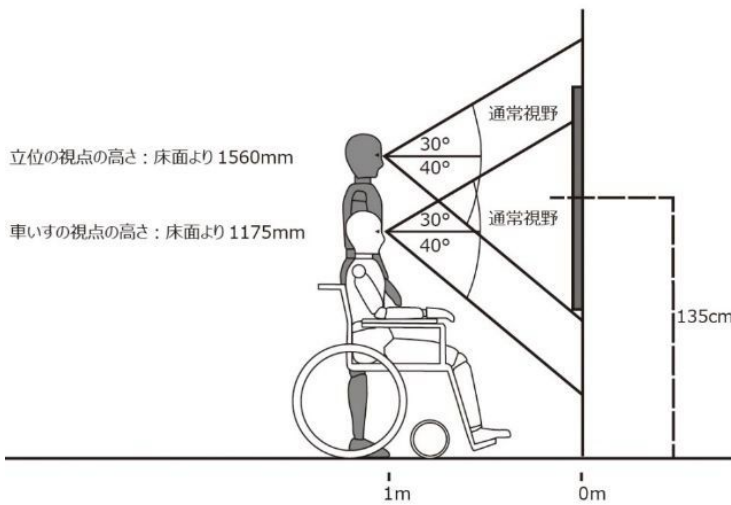


「標準案内用図記号のピクトグラム」
標準案内用図記号ガイドライン
((公財)交通エコロジー・モビリティ財団)より



「標準案内用図記号のピクトグラム」を活用した事例【那覇市内】

車いす利用者に配慮したサイン



「バリアフリー整備ガイドライン(旅客施設編)」国土交通省 より



足元に空間を設け、車いす利用者でも近づくことができるように配慮したサインの事例【那覇市:久米至聖廟前】



車いす利用者の方も見やすいように配慮された案内サインの事例
左【富山県：富岩運河環水公園】 右【東京都：十条駅前】

公共コラム

色彩への配慮

【主な見づらい色の組み合わせ】

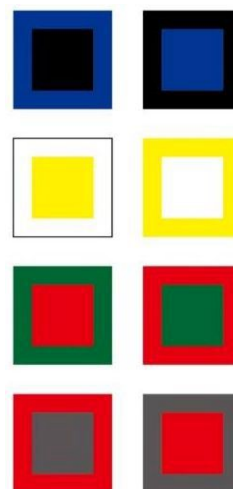


色彩については、図と地のコントラストを強くするなど視認性を高めるとともに、高齢者や色弱者、視覚障がい者に配慮することが重要です。

「青と黒」、「黄と白」、「緑と赤」、「灰と赤」などの組み合わせは、見づらい色となります。

色弱者の見え方は、赤が茶に見えたり、青が緑に見えたりするなど、色の組み合わせ次第では区別が付けにくいことが考えられます。そのことから、視認性の高い色彩の組み合わせに配慮することが重要です。

また、図を作成する際には、【色のシミュレータ（フリーアプリ）】を使用し確認するなどの配慮に努めましょう。



公共コラム

公共サインの維持管理



沖縄では常に強烈な陽光にさらされ、海風による塩害を受け、その上毎年台風を経験するという厳しい気候環境下にあるため、部材の腐食、ゆるみ、亀裂などが発生している可能性があります。

また、手入れをしなければ、汚れや色あせ等で見えにくくなり、まちや通りの景観を損ねることに繋がります。

そのため、日常的に意識して点検を行い、危険な兆候を見つけた場合は早急に取り換えを行いましょう。定期的なメンテナンスを行うことで、公共サインの効果を持続することに繋がります。





5-2 統一性への配慮

デザインのPoint

- ◆ 様々な形状のサインがあるため、統一感のあるデザインとしましょう。

デザインが統一された案内サインの事例



現在地を中心に広域から周辺までの案内サインを設置し、デザインが統一されている事例
【福岡県：博多駅】



「地域案内図」「凡例」を掲示した案内サインの事例
【那覇市：久米至聖廟前】



「地域案内図」「凡例」を掲示した案内サインの事例
【那覇市：パレットくもじ前】

デザインが統一された誘導サインの事例



「誘導施設名称」「方向」が掲示され、デザインが統一されたサインの事例【那覇市：松尾】



「誘導施設名称」「方向」が掲示され、デザインが統一されたサインの事例【那覇市：若狭海浜公園前】



5-3 伝統的な素材の活用

デザインのPoint

- ◆ 首里や壺屋など歴史的な地域においては、石材や赤瓦、陶器など自然素材や地場産の素材を活用しましょう。

石材を活用した事例



石材とともに壺屋焼きを活用したサインの事例
【那覇市：壺屋】



石材を活用した事例
【那覇市：首里崎山町】



琉球石灰岩を活用した事例
【那覇市：那覇市ぶんかテンブス館前】

木材を活用した事例



支柱等に木材を活用した事例
【糸満市：喜屋武公園】



土台部分に木材を活用した事例
【那覇市：壺屋焼物博物館】

那覇市都市景観審議会にて計3回の審議を経て作成しています。

那覇市都市景観審議会(第15期)

委員名簿

任期:2017年(平成29年)3月14日~2019年(平成31年)2月28日

No.	委員氏名	所属・役職
1	下地 芳郎【会長】	琉球大学 国際地域創造学部 教授
2	宮城 哲	当山法律事務所 琉球大学 法科大学院 教授
3	赤嶺 雅	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 デザイン工芸学科 教授
4	島田 潤	株式会社 デザインネットワーク 代表取締役
5	上原 昭男	琉球漆器事業協同組合 理事長 琉球うるし工芸有限会社 代表取締役
6	宮城 譲二	あけもどろ緑の会 会長 有限会社 宮城錦水園 代表取締役
7	久高 多美子	株式会社 東設計工房 専務取締役
8	玉那覇 通男	沖縄振興開発金融公庫 企画調査部長
9	知念 弘聡	株式会社 沖縄文化環境研究所 副所長
10	波平 エリ子	沖縄女子短期大学 総合ビジネス学科 准教授
11	木下 能里子	株式会社 国建 地域計画部 首席研究員(部長)
12	望月 拓郎	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 企画調整官
13	嘉川 陽一	沖縄県 土木建築部 建築都市統括監
14	永吉 英	沖縄県広告美術協同組合 理事長 有限会社 エーツーサイン 代表取締役
15	大城 弘明	一般社団法人 那覇市観光協会 事務局長

参考文献

- 第5次那覇市総合計画(平成 29 年 12 月)
- 那覇市景観計画(平成 23 年 5 月)
- 那覇市景観計画 景観ガイドライン(平成 24 年 3 月)
- 那覇市屋外広告物ガイドライン(平成 25 年 3 月)
- 那覇市タウンカラースタンダード(平成 15 年 3 月)
- 那覇市公共サイン計画(平成 26 年 3 月)
- 那覇市サインデザインマニュアル(平成 29 年 3 月)
- 那覇市建築デザインマニュアル(平成 29 年 3 月)
- 那覇市自転車ネットワーク計画 基本計画編(平成 30 年 3 月)
- 那覇市土木デザインマニュアル(平成 2 年 3 月)
- イラストによる都市景観のまとめ方(昭和 59 年 9 月)
著:ディーター・プリンツ 訳:小幡 一 発行:井上書院
- 道路緑化技術基準・同解説(平成 28 年 3 月) 公益社団法人 日本道路協会
- 景観に配慮した道路附属物等ガイドライン(平成 29 年 11 月) 一般財団法人 日本みち研究所
- 補訂版 道路のデザイン(平成 29 年 11 月) 一般財団法人 日本みち研究所
- 都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン【改訂版】(平成 24 年 3 月) 国土交通省
- 造園施工管理技術編(平成 23 年 4 月) 一般社団法人 日本公園緑地協会
- GREEN+INFRASTRUCTURE REPORT 「自然の力を、都市のちからに」グリーンインフラの時代へ
(平成 29 年 7 月) 編集:一般社団法人 グリーンインフラ総研 発行:東邦レオ(株)
- ふるさとの川をつくり育てる ふるさとの川整備事業事例集(平成 12 年 6 月)
財団法人リバーフロント整備センター
- 標準案内用図記号ガイドライン 改訂版(平成 29 年 7 月)
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- バリアフリー整備ガイドライン【旅客施設編】(平成 30 年 7 月) 国土交通省

※那覇市公共デザインマニュアルの事例写真について

那覇市公共デザインマニュアルで使用している事例写真については、那覇市内の事例を主としていますが、より良い事例を紹介するため、県内外の他市町村等の事例を一部活用しています。また、現状に即した最新の整備事例を紹介するため、事例写真の追加等も、今後行っていく予定です。

みんなで継承みんなでつくる亜熱帯庭園都市なはの景観

那覇市公共デザインマニュアル

1990(平成2)年3月策定(土木デザインマニュアル)

2019(平成31)年2月改定

那覇市 都市みらい部 都市計画課 都市デザイン室